

建築研究所 ニュース



平成28年12月27日

建築研究資料 No.178 「高齢者の地域活動参加のためのまちづくりの手引き」
の公表について

国立研究開発法人建築研究所は、建築研究資料「高齢者の地域活動参加のためのまちづくりの手引き」をとりまとめ、ウェブサイトに掲載しましたのでご案内致します。

建築研究所では平成26年度から27年度にかけて、重点的研究開発課題「健康長寿社会に対応したまちづくりの計画・運営手法に関する研究」を実施してきました。

わが国においては、急速な高齢化、社会保障費の増加により、2050年には現役世代1人で高齢者1人を支える「肩車型」社会になると言われています。そうした時代を迎えるにあたり、生き生きとした暮らしや介護予防の観点から、高齢者の社会参画を促す仕組みが求められています。こうした背景を受け、地域の安全・安心活動、公共施設等の維持管理活動に関する地域活動団体へのグループインタビューや参加者個人へのインタビュー調査、活動量調査等を通じて、地域活動への参加が高齢者個人の健康にもたらす効果や、地域活動を担う高齢者の参加促進・定着のための工夫などを取りまとめ、建築研究資料として出版するものです。

なお、検討結果を専門家以外にも分かりやすくお伝えするため、質的分析法に基づく地域活動参加過程を『参加すごろく』という形にアレンジしたり、活動参加・定着を後押しする地域活動団体の取り組みの工夫を『処方せん』という形にアレンジしたりするなどの工夫を行い、それらをリーフレットの形にまとめた概要版もウェブサイトに掲載しました。

資料本編および概要版リーフレットの印刷物は来年3月頃に配付可能となる予定です。印刷物をご要望の方は、下記の問い合わせ先にご連絡頂ければ、先着順で配付させて頂くことを予定しています。

本資料とその概要版が、高齢社会におけるまちづくりに関わる町内会・自治会、NPOなどの地域団体及び、それらをサポートする自治体の職員や専門家に活用されることを期待します。

(ダウンロードURL)

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/data/178/index.html>

(内容の問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所
所属 住宅・都市研究グループ
氏名 石井儀光 (いしいのりみつ)
電話 029-864-6696 (直通)
E-mail ishii@kenken.go.jp

目 次

はじめに	1
第1章 高齢者が支える地域社会	5
1 高齢者が支える地域社会とは	5
2 高齢者による地域活動の現状と効果	6
3 高齢者の地域活動の参加促進に向けて	11
参考「高齢者が生き生きと暮らせるまちづくりの手引き」	12
コラム 変わりつつある地域活動への参加意識	13
コラム 高齢者が地域を変える 地域づくりが高齢者を変える	15
第2章 高齢者の地域活動参加促進手法	17
1 『参加すごろく』から『処方せん』を探す	18
2 「つぶやき」から『処方せん』を探す	20
3 地域活動参加の『処方せん』	21
コラム 女性の地域活動参加の世代変化	40
あとがき	42
■参考資料	43
1 インタビュー調査の概要	45
2 インタビュー調査結果の質的分析	55
3 活動量計調査の概要	61
4 調査対象団体の概要	64
5 高齢者の外出機会や行動範囲	76